



いばらき県議会だより

茨城県議会 検索 <http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

No.205

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています
県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>
[いばキラTV] <http://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会
〒310-8555 水戸市笠原町978番6
Tel.029-301-5646 [年4回発行]



紅葉が見頃を迎えます

写真上:茨城県立歴史館(水戸市)
11月1日(木)~23日(金)
歴史館いちようまつり 開催

写真左下:筑波山(つくば市)
11月1日(木)~30日(金)
筑波山もみじまつり 開催

写真右下:竜神大吊橋(常陸太田市)
11月1日(木)~30日(金)
竜神峡紅葉まつり 開催

ほかにも、花貫溪谷(高萩市)や袋田の滝(大子町)など、県内には多くの紅葉スポットがあります。

詳細は

観光いばらき <http://www.ibarakiguide.jp/>



第三回定例会の概要

平成三十年第三回定例会は、八月三十一日から九月二十七日まで二十八日の会期で開かれました。

議案は、議員から、茨城県手話言語の普及の促進に関する条例など、知事から、茨城県一般会計補正予算などが提出されました。

代表質問は、新たな県総合計画の考え方、知事の基本姿勢、宇宙ビジネスの拠点形成、今後の県政運営などの項目について行われました。(二~三面)

一般質問は、つくばエクスプレスの石岡經由茨城空港延伸、公共交通の維持・確保などの項目について行われました。(四~六面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、県の障害者雇用推進に向けた対応、「量子科学による革新的産業創生・専門人材育成事業」の狙い、東京医科大学茨城医療センターとの連携、GAPに関する教育の推進、建設業の育成に向けた対応状況、県立高校へのエアコン設置方針などが議論されました。(七面)

国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会では、開催に向けた取り組みなどについて質疑が行われました。

新しい茨城づくり調査特別委員会では、新たな県総合計画の在り方について中間報告を行いました。(四面)

予算特別委員会では、千波湖の水質浄化、予防接種の再接種費用助成などについて質疑が行われました。(六面)

決算特別委員会では、平成二十九年茨城県公営企業会計決算の認定などについて審査が行われました。

今回の定例会では、予算、条例、人事報告、意見書、請願などの二十六件の議案などが可決、同意、承認、採択されました。

代表質問※(要旨)



福地 源一郎 議員
いばらき自民党
日立市選出
一括方式

新たな県総合計画の考え方

議員 本県財政は楽観的状况にはないものの、本県が飛躍するための必要な事業には、積極果敢に挑戦し、投資もして、将来につながる好循環を生み出す政策が必要であり、今後発表される新たな県総合計画に反映されると期待するが、どのような夢を描き、理念を込めて計画を策定しようとしているのか。

知事 県民の皆様が現状に満足することなく、自分の叶えたい夢に向かって挑戦し続けられるような県づくりを進めていきたいと考えている。新たな県総合計画においても、「豊かさ」「安心安全」「人財育成」「夢・希望」の四つのチャレンジの方向性をしっかりと位置付け、本県の飛躍に必要な施策を積極的に盛り込んでいきたい。

●質問者

9月5日(水)
福地 源一郎 (いばらき自民党)
長谷川 修平 (県民フォーラム)

9月6日(木)
白井 平八郎 (自民県政クラブ)
井手 義弘 (公明党)

第3回定例会の主な日程

平成30年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 8月31日(金) **本会議**
(開会、知事提出議案説明)
- 9月5日(水) **本会議**
6日(木) (代表質問・質疑)
- 9月7日(金) **本会議**
10日(月) (一般質問・質疑)
11日(火)
12日(水)
- 9月14日(金) **常任委員会**
- 9月19日(水) **本会議**
(予算関係議案常任委員長報告など)
- 9月20日(木) **決算特別委員会**
- 9月21日(金) **予算特別委員会**
- 9月25日(火) **新しい茨城づくり調査特別委員会**
- 9月26日(水) **国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会**
- 9月27日(木) **本会議**
(委員長報告、採決、閉会)

公文書の保存管理

議員 公文書は、単に記録を残すだけでなく、行政活動の足跡を後世に伝える役割を担っており、その収集・整理・保管は重要である。公文書の整理保存への対応と公文書館設置についての所見は。

知事 公文書の適切な管理は、将来の県民に対する説明責任を全うするためにも重要である。文書改ざん防止などの効果が期待される電子決裁の推進などに取り組むとともに、県立歴史館が本県における公文書館としての機能を担うこととし、歴史公文書などの管理に関するデータベースの充実を図っていく。

犯罪多発地域茨城県の課題と取り組み

議員 住宅侵入窃盗や自動車盗、二七電話詐欺など、あらゆる犯罪から地域を守るという意識を醸成し、県民挙げて犯罪防止の取り組みを推進すべきと考えるが、今後の取り組みは。

警察本部長 犯罪の発生状況についての情報提供など広報啓発

県内の高速道路と県北地域の道路インフラ整備の見直し

議員 新たな物流や経済と産業の核となる地域を創り、本県産業の発展と交流人口の増加につながる県内の高速道路と、県北地域高規格道路をはじめとする県北地域の広域的な道路インフラ整備の見直しは。

知事 県内の高速道路については、整備が完了していない首都圏中央連絡自動車道および東関東自動車道水戸線の一部も早い完成に向け、引き続き国などに強く働き掛けていく。また、茨城港常陸那珂港区と県北内陸部を結ぶ規格の高い道路について、国道二四五号から国道六号の区間の事業化に必要な調査費を補正予算に計上するなど、今後とも県北地域の国道道の整備を着実に進め、ネットワークの強化



精神障害者に医療費助成制度の拡充を

精神障害者への障害者手帳交付の課題

議員 精神障害者は、障害年金一級の受給者のみが医療費助成制度(マル福制度)の対象で、重度の手帳保持者は対象外である。このため、手帳取得の促進を図る観点からマル福制度を拡充すべきと考えるが、所見は。

知事 重度の障害を有しながら、障害年金を受給できずにマル福制度の対象とならない精神障害者の方もおられる。このことか

議員提案により「茨城県手話言語の普及の促進に関する条例」を制定しました

手話を使い生活を営む方もそうでない方も互いに理解し合い、差別のない、誰もが暮らしやすい地域社会を実現するためには、手話を広く県民に普及するとともに、手話を使用しやすい環境を整備していくことが必要です。

こうした考えの下、この条例では、手話の普及などに関して基本理念を定め、県の責務や県民などの役割を明らかにするとともに、県の施策の基本となる事項を定めています。

この条例は、平成三十年十月二日から施行されました。



提案説明を行う森田悦男議員

今定例会で可決された議案など

- 議員提出**
- ◆条例の制定
 - 茨城県手話言語の普及の促進に関する条例 ほか四件
 - ◆意見書
 - 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書 ほか七件
- 知事提出**
- ◆平成三十年度補正予算関係
 - 一般会計予算 ほか四件
 - ◆条例の制定
 - 茨城県地方創生拠点整備基金条例
 - ◆条例の一部改正
 - 茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例
 - ◆人事
 - 公害審査会委員の任命について
 - ◆その他
 - 県が行う建設事業等に対する市の負担額について ほか五件
- 報告**
- 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について
- 請願**
- 精神障害者に対する医療福祉費支給制度(マル福)の拡充等に関する請願
 - 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算にかかる意見書採択を求める請願
- ※意見書および請願の全文はホームページでご覧いただけます**

※【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。

代表質問(要旨)



長谷川 修平 議員
県民フォーラム
日立市選出
一括方式

知事の基本姿勢

議員 「話を聞く姿勢」こそが知事の重要な役割の一つである。そうした知事の姿勢を通じて、県民は知事を信頼していくと考

えるが、所見は。
知事 県政世論調査のほか、私自らが現場へ出向き、県民との丁寧な対話と本音の議論を行う対話集会の実施などを通じて、信頼関係を築きながら、県民が未来に希望を持つことができる「新しい茨城づくり」に全力で取り組んでいく。

県北振興

議員 人口減少をはじめ厳しい



井手 義弘 議員
公明党
日立市選出
分割方式

今後の県政運営

議員 子育て日本一を目指した支援策として、医療費の負担を軽減する小児マル福制度を拡充し、高校三年生の通院までを対象としてどうか。

知事 子育て世代の経済的負担を軽減するため、今年十月から入院に対する小児マル福制度の対象を、これまでの中学三年生から高校三年生まで拡充する。

状況が続く中、県北振興を図るためには政治の力が重要である。知事には不転の決意を持って全力で取り組むことを望むが、今後、県北振興をどう進めていくのか。

知事 県北振興を進めるためには、地域自らが考え、主体的に取り組んでいくことが重要であり、県も地域と目標などを共有した上で、効果的・効率的な取り組みを進める必要がある。新たな総合計画で示す県北地域の将来像の実現に向け、未来に希望の持てる県北地域づくりに全力で取り組んでいく。

本県の資源を生かした産業振興と雇用創出

議員 今後、産業振興や雇用創出を進めるため、県や企業などが連携を図るとともに、県による支援を充実・強化し、企業の枠を超えたオープンイノベーションの促進などに取り組むべ

きと考えるが、所見は。
知事 産学官金による「茨城県IoT推進ラボ」を創設し、県内企業の生産性向上などの取り組みを支援するなど、一層の産学官の強化に向けて県が中心的な役割を担いながら、科学技術の集積や産業資源を最大限に活用し、産業振興を図っていく。(ほかに、財政運営、医師確保対策なども質問)

フリーWiFiの十分な整備と茨城の魅力を紹介するコンテンツが必要である。

議員 フリーWiFiの十分な整備と茨城の魅力を紹介するコンテンツが必要である。また、国体に合わせてコンピュータゲームのeスポーツが実施されるが、茨城らしい特徴や独自性をどのように発揮していくのか。

知事 県のイメージアップやスポーツ振興につなげるため、民間事業者とも連携して新たな情報発信に挑戦していく。また、ネット環境の整備とともに競技のライブ中継などコンテンツの



さらなる地域振興が期待される県北地域

宇宙ビジネスの拠点形成



臼井 平八郎 議員
自民県政クラブ
結城市選出
一括方式

議員 本県には筑波宇宙センターや多数の研究機関などがあり、宇宙ビジネスを展開する上で他地域にない強みがある。宇宙ビジネスの拠点形成に向け、どう取り組むのか。

知事 宇宙ビジネス参入促進のためのシンポジウムやビジネスプランに対するマッチング会を実施し、機運醸成を図る。また、宇宙ビジネスに詳しいコーディネーターによるビジネス相談などを行うとともに、県産業技術イノベーションセンターに企業の宇宙機器開発支援のための小型試験設備を整備し、体制構築を

通院については、拡充の効果を最大限に発揮するため、財政状況や他県の動向を勘案しながら検討する。
知事 国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピックピックの開催

ヘルプマークの制作・配布と普及促進

議員 外見からは容易に判断することが難しい内部障害や難病の方、妊娠初期の方などが、援助や配慮の必要性を周囲に知らせるヘルプマークを作成・配布し、社会的認知度向上を目指すべきと考えるが、所見は。

知事 ヘルプマークおよびヘルプカードを来年度から配布し、身に付けている方が必要とする援助や配慮をきちんと受けられるよう、その役割や見かけた場



ヘルプマークの作成・配布と社会的認知度向上を

図る。さらに、企業の開発経費などを助成する財政支援を行い、宇宙といえば「茨城」というブランドイメージを構築し、関連企業の集積を促進して、宇宙ビジネスの拠点形成を図っていく。

鬼怒川緊急対策プロジェクトの進捗と田川の改修見直し
議員 鬼怒川緊急対策プロジェクトの進捗状況および田川の改修見直しは。

知事 鬼怒川では、必要な堤防用地の八割超を取得し、三割超の堤防が完成または整備中である。河道掘削も約六割が完了しており、二〇二〇年度の完成に向け順調に工事が進められている。田川については、調査・設計を開始するとともに合流点の整備について国と調整を行っているところであり、早期に河川改修が実施できるよう努める。

大規模災害に対する県警察としての取り組み

議員 大規模災害に対する県警察としての取り組みは。
警察本部長 各種気象警報発表時や震度四以上の地震発生の際、災害警備連絡室を設置し、初動対応に当たっている。また、水害や地震などあらゆる事態を想定した災害対応訓練を実施し、災害対応能力向上に努めている。(ほかに、知事の基本姿勢、介護人材の確保なども質問)



茨城に宇宙ビジネスの拠点形成を(JAXA提供)

今回の、平成30年第4回定例会は、10月29日から11月14日までの17日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
10. 29	月	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
30	火	休会(議案調査)
31	水	休会(議案調査)
11. 1	木	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
2	金	本会議(一般質問・質疑)
3	土	(文化の日)
4	日	
5	月	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
6	火	休会(委員会審査準備)
7	水	休会(常任委員会)
8	木	休会(決算特別委員会)
9	金	休会(新しい茨城づくり調査特別委員会)
10	土	
11	日	
12	月	休会(国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会)
13	火	休会(議事整理)
14	水	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

●質問者

9月7日(金)

戸井田 和之
(いばらき自民党)

本澤 徹
(無所属)

中村 修
(いばらき自民党)

9月10日(月)

先崎 光
(いばらき自民党)

高崎 進
(公明党)

磯崎 達也
(いばらき自民党)

9月11日(火)

設楽 詠美子
(県民フォーラム)

飯田 智男
(自民県政クラブ)

岡田 拓也
(いばらき自民党)

9月12日(水)

上野 高志
(日本共産党)

安藤 真理子
(いばらき自民党)

石井 邦一
(いばらき自民党)



戸井田 和之 議員
いばらき自民党
石岡市選出
一括方式

つくばエクスプレスの石岡経由 茨城空港延伸

議員 石岡市は企業集積や豊かな自然環境など、地域資源が数多くあり、高速道路や鉄道など、優れた交通網も整っている。石岡駅を経由したTXの茨城空港延伸は、本県全体の経済や観光などを活性化すると考えるが、所見は。
知事 県内延伸の実現には、必要な資金の調達や、採算性の確保などの問題もあるが、ルートも含めて幅広く検討を行い、実現に向けてあらゆる可能性を模索しながら、しっかりと取り組んでいく。

茨城の魅力ある祭りを生かした 観光振興

議員 「石岡のおまつり」など茨城の魅力ある祭りを生かして、PRや観光振興に取り組むべきであると考えるが、所見は。
知事 情報発信の充実と体験型観光による誘客促進に重点的に取り組む。また、体験型観光に取り組み市町村を支援するなど、関係者との連携を強化しながら、一体的なプロモーションを展開し、観光振興に全力で取り組む。
(ほかに、競争力のある強い梨産地の育成、恋瀬川の氾濫対策なども質問)



石岡のおまつり



本澤 徹 議員
無所属
田市選出
一括方式

公共交通の維持・確保

議員 地域にとって最も望ましい公共交通の維持・確保に向け、今後どのように市町村と連携し、また、市町村を支援していくのか。
政策企画部長 公共交通空白地域の解消を図るため、今年度からコミュニティ交通の新規導入などに取り組む市町村も支援の対象に加えた。このほか、県内四地域に設置した協議会など、さまざまな機会を活用し、市町村と連携しながら、地域の公共交通の維持・確保に向けて必要な支援を行っていく。

農業における外国人材の活用

議員 外国人材に関する制度が大きく変わる今、茨城農業を支える外国人材について真剣に考えるべきだが、今後の活用の方向性は。
農林水産部長 儲かる農業の実現には、外国人材の活用が必要である。外国人材に選ばれる茨城となるためには、住環境や相談体制などの受け入れ環境の整備が重要であり、関係団体とも連携し、環境整備に向けた対応を検討するとともに、制度運用の体制を整えていく。
(ほかに、東海第二発電所の再稼働、保健所の再編なども質問)



鉢田市内を走る路線バス



先崎 光 議員
いばらき自民党
那珂市選出
分割方式

国体後のスポーツ資源を 活用した地域振興

議員 選手の育成、おもてなし機運の向上、施設充実などの国体レガシーや県内のスポーツ資源を活用した地域振興を推進する専門部局が必要と考えるが、所見は。
知事 スポーツは、現代社会が抱えるさまざまな課題を解決する力を持つと考えており、今後、スポーツを地域資源と捉え、活用できる人材の育成などに取り組んでいく。専門組織の設置については、他の自治体の状況や県民意識などを踏まえ可能性を検討していく。

広域農道バードラインの 県道昇格と整備推進

議員 県道菅谷小原内水戸線交差点から国道一一八号までの区間におけるバードラインは交通量が増加するなどしており、県道に昇格させ整備を推進すべきと考えますが、所見は。
土木部長 当区間は那珂市道であり、四車線で都市計画決定されている。県道昇格については将来の交通需要も見据え、那珂市とも調整しながら、県道として整備する必要性などを総合的に考えていく。
(ほかに、北方領土学習、県道額田南郷田彦線バイパス整備なども質問)



国体・障害者スポーツ大会
カウントダウンボード点灯式



中村 修 議員
いばらき自民党
取手市選出
一括方式

国道二九四号の拡幅

議員 本路線は地域の経済や産業を支えるとともに常磐道や圏央道へ接続する大変重要な幹線道路である。早期の四車線化が強く望まれているが、今後の整備見通しは。
土木部長 白山地区の約七百メートルについて、今年度中の暫定三車線供用を目指すとともに、四車線化に向け対応策を検討していく。その西側の未整備区間三・一キロについては、特に渋滞の著しい新取手駅前の交差点を含む約八百メートルの整備に向けて準備を進める。



整備が進む国道294号(取手市)

保幼小の接続(字びの連続性)

議員 小一プロブレム※といった問題に対処するには、幼児教育施設での学びや生活と、小学校教育を円滑に接続していくことが大切と考えるが、そのための方策は。
教育長 茨城県保幼小接続カリキュラムの活用によって情報共有を図り、市町村幼児教育アドバイザーなど中心的な役割を担う人材を育成している。相互参観の取り組みを県内に広めるなど円滑な接続を支援していく。
(ほかに、保育士の確保、儲かる農業の実現なども質問)

新しい茨城づくり調査特別委員会 「新たな県総合計画の在り方」について提言

本委員会(西條昌良委員長)では、「新たな県総合計画の在り方」についての調査・検討結果を、九月の第五回委員会で提言としてとりまとめ、今定例会最終日(九月二十七日)に中間報告を行いました。
提言では、「誰一人取り残さない社会づくり」や「セーフティネット対策」、「県の枠を超えた広域ネットワーク強化」などの重要性を述べ、趣旨を尊重して計画策定に当たるよう知事に求めました。



大井川知事に提言書を手渡す山岡議長と西條委員長(写真左から常井副議長、議長、知事、委員長、萩原副委員長)

※小一プロブレム…小学校1年生などの教室において、学習に集中できない、教師の話が聞けずに授業が成立しないなど、学級がうまく機能しない状況。



議員 進 高崎 明 党出 戸市選出 一括方式

県都水戸を中心とする 県央地域の振興策

議員 県都水戸が文化・歴史的蓄積と新プロジェクトを活用し、中心部から交流人口拡大を推進することが、県央地域振興のため必要と考える。水戸を中心とした県央地域振興策にどう取り組むのか。



議員 達也 磯崎 いばらき自民党 いたちなか市選出 一括方式

さらなる外国クルーズ船の 寄港誘致

議員 現状に満足することなく、ダイヤモンドプリンセス級の大型クルーズ船の誘致を目標に、知事をはじめ、さらなる外国クルーズ船の寄港誘致に力を注いでほしいが、ハード面の常陸那珂港区の整備と併せ、今後どう取り組むのか。



寄港が決定した「ウエステルダム」

アレルギー疾患対策

議員 国は、平成二十九年に、法に基づきアレルギー疾患対策の基本方針を策定した。県としてのアレルギー疾患対策への取り組みは、保健福祉部長 アレルギー疾患医療拠点病院として筑波大学附属病院を指定し、対策に関わる医師や団体などからなる連絡協議会も設置した。今後、診療ネットワーク促進、人材育成、普及啓発、相談体制強化などを推進していく。



イチョウと県立歴史館(水戸市)

犬猫殺処分ゼロを目指した 新しい取り組み

議員 高い評価を受ける「命の花プロジェクト」※を、国体の「花いっぱい運動」と連携して茨城発の取り組みとして全国へつなぐなど、殺処分ゼロに向けたあらゆる方策に挑戦してほしいが、所見は、知事 「命の花プロジェクト」に賛同する団体などの自主的な活動への協力を検討していく。動物愛護管理施策のあり方検討委員会の意見を踏まえ、効果的な施策の検討を進める。



議員 詠美子 設楽 県民フォーラム 西市選出 分割方式

学校におけるエアコン設置の推進

議員 県立高校へのエアコン設置を迅速かつ確実に進めるとともに、小中学校や幼稚園でも整備が進むよう、支援を実施していくことが必要である。公立学校におけるエアコン設置推進についての所見は、知事 県立高校では、現在エアコンが整備されていない普通教室を対象に、来年の夏から稼働できるように取り組む。小中学校と幼稚園については、支援を希望する全ての市町村が国庫補助などを活用できるように、国に要望を行っていく。

西部メディカルセンターの今後

議員 十月に開院する西部メディカルセンターに、今後どのような役割を期待するのか。また、遠隔医療に必要な体制の整備や機器の導入を含め、県として今後どのように支援を行っていくのか。



10月に開院した西部メディカルセンター(筑西市)

自転車活用推進計画の策定

議員 県は、全国に先駆けて、「自転車活用推進計画」の策定に取り組んでいる。今後の方向性は、政策企画部長 サイクルツーリズムの推進に向けた方策をはじめ、自転車ネットワークづくりや交通安全対策、健康増進などにつながる方策を検討する。併せて、りんごロードのナショナルサイクルルート認定に向けた方策も検討し、年度内を目途に計画を策定する。

議員 市町村の体制強化こそが、県全体の防災力向上に不可欠であると考え。大規模災害時の被災市町村の体制の確保に向けて、県は、今後どのように取り組むのか。防災・危機管理部長 市町村の災害対応を支援するため、三月から「いばらき災害対応支援チーム」※の運用を開始した。早急に登録職員の研修や訓練を充実させ、支援チームの能力向上を図る。加えて、直接災害対応業務を行う職員の派遣について市町村と検討する。



被災地支援に出発する職員



議員 拓也 岡田 いばらき自民党 高萩市選出 一括方式

フィルムコミッションの活用

議員 撮影誘致に当たっては、受け入れ地域の要望に耳を傾け、地域のPRにも還元できるような取り組みも大切と考える。今後の撮影誘致作品の活用策と本県フィルムコミッションの役割は、営業戦略部長 誘致作品の著作物の二次利用について県内共通のルールづくりを市町村と協議していくほか、受け入れ地域の思いが伝わるよう、県自ら関係先を訪問し、地域のPRや観光誘客につながる取り組みの提案も行っていく。

特別支援学校における 就労支援の取り組み

議員 障がい者の雇用促進には、特別支援学校とハローワークの連携、学校と企業をつなぐ人材配置などが必要と考える。特別支援学校の今後の就労支援の取り組みは、教育長 就職相談の取り組みを強化し、ハローワーク主催の事業所向け学校見学会の拡大に向けて働き掛けるほか、卒業後の継続支援のため、障害者就業・生活支援センターとの連携を密にしていきたい。



県内における撮影風景

取手いじめ自死への対応

議員 県教育委員会は、取手市自死事件での対応について、自らの誤りを認めるべきである。そして、一つ一つ、一回一回の助言支援を検討すべきと考えるが、所見は、教育長 一人の人間が亡くなったことは、本当に大変なことと真摯に受け止めている。一つ一つの対応については、その都度最善を尽くし、指導助言をしてきたつもりだが、今後さらに考えていきたい。

議員 今定例会には、茨城県精神保健福祉会連合会から二万人以上の署名を添えた、マル福の拡充などに関する請願が提出されている。精神障害者保健福祉手帳二級保持者にまで、医療費助成を拡充すべきであるが、所見は、知事 手帳二級保持者を対象とすることは、公平性の観点から現時点での実施は考えていない。まずは来年四月から手帳一級保持者を対象に加え、重度の精神障害者が助成を受けられるよう取り組む。



県が交付する精神障害者保健福祉手帳

※【命の花プロジェクト】…青森県立三本木農業高等学校の生徒が始めた、殺処分された犬や猫の骨を砕いて土に混ぜ、花を育てて、命の尊さと殺処分の現状を伝える活動。 ※【いばらき災害対応支援チーム】…災害対応の経験やノウハウを持った県や市町村の職員が、被災市町村の災害マネジメントを支援する本県独自の取り組み。

一般質問(要旨)



議員 安藤 真理子
いばらき自民党
土浦市選出
一括方式

郵便局と連携した行政サービス

議員 郵便局は自治体と連携し行政サービスを補完しているが、防災や県事業の広報など、より一層の連携に取り組むべきと考えられる。どのように進めていくのか。

知事 県では昨年、日本郵便株式会社と包括連携協定を締結し、高齢者の見守りや県の魅力発信などさまざまな取り組みについて連携を進めている。今後も意見を交換しながら、連携・協働できる分野や内容の拡充を検討し、県民サービスの向上に取り組んでいく。



議員 石井 邦一
いばらき自民党
太田市選出
一括方式

県北山間地域における救急医療体制の充実

議員 他県ドクターヘリの出動エリア拡大や本県ドクターヘリの体制充実、遠隔医療の導入など、県北山間地域のさらなる救急医療体制強化にどう取り組んでいくのか。
知事 栃木・福島両県にエリア拡大を働き掛けるほか、ドクターヘリを補完する防災ヘリの救急出動が、来年七月に開始できるよう調整を進める。また、県北の救急病院に、脳卒中に係る遠隔画像診断治療補助システムを年内に導入し、救急医療体制の充実に取り組む。

医療的ケアが必要な障害者への支援

議員 医療的ケアが必要な障害者は、処置への不安や対人材の不足などから、施設などで受け入れてもらえない実情がある。どのように支援を進めるのか。
保健福祉部福祉担当部長 医療的ケアに対する経験や理解の不足から受け入れが進まないため、引き続き、従事者向け研修などを開催するとともに、現場の実態を把握した上で必要な対策を講じていく。



医療的ケア(たんの吸引)

内水面漁業の成長産業化

議員 茨城をアユの聖地にするためには、天然アユの増殖だけでなく、アユにより地域産業を活性化し、雇用を生む取り組みが必要である。内水面漁業の成長産業化にどう取り組んでいくのか。
農林水産部長 久慈川などへの安定的な県産稚アユの放流やアユを活用した地域振興策の検討と併せて、遊漁者数の増加対策などにより、内水面漁業の成長産業化を進め、地域全体の活性化を目指す。

(ほかに、久慈川の河川整備、常陸太田市内の治水対策なども質問)



救急現場に出動するドクターヘリ

予算特別委員会

質問者

- 加藤 明良 (いばらき自民党)
- 二川 英俊 (県民フォーラム)
- 山中 たい子 (日本共産党)
- 水柿 一俊 (いばらき自民党)
- 星田 弘司 (いばらき自民党)
- 井手 義弘 (公明党)
- 江田 隆記 (自民県政クラブ)
- 萩原 勇 (いばらき自民党)

予防接種の研修会などの機会を活用して、市町村に情報提供を図っていく。

(ほかに、農業水利施設などの管理・更新、自転車の安全教育なども質問)

山中たい子委員(共産) 原子力災害に備えた避難所の面積を算出するに当たり、居住スペースとして使用できない面積が含まれていたと聞いている。

有効面積の再点検を行い、その結果に基づいて、県・市町村の避難計画を見直す必要があると考えるが、所見は。

知事 避難所の面積の確保状況については、避難元の十四市町村に確認の上、市町村間の協議状況を踏まえながら、県としても必要な支援を行っていく。

(ほかに、訪問教育などの拡充、水行政の課題なども質問)

水柿一俊委員(自民) 県西地域ではイネ縮葉枯病が多発し、地域をあげて徹底した防除対策が必要だが、取り組み状況と今後の支援の見通しは。

農林水産部長 県・市町・農業団体からなる対策協議会を設立し、特に被害の多い地域では市町・団体と協力して生育期間中の薬剤防除の経費を助成した。今後の支援については、防除効果などを検証した上で検討する。

(ほかに、最先端科学技術企業と地元企業との連携、国体などの開催に向けた道路の維持管理も質問)

星田弘司委員(自民) 来年開催されるG20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合を活用し、世界に向けて茨城県をどう発信し、開港後どのようなレガシーを残そうとしているのか。

知事 あらゆる機会を活用し、私自身が本県の魅力を積極的に発信していく。レガシーとして、企業誘致や誘客などにつながる取り組みや未来を担う子どもたち向けの取り組みを市町村などと協議しながら、前向きに検討していく。

(ほかに、タンDEM自転車の公道走行、中学校の部活動の在り方なども質問)

井手義弘委員(公明) 自然災害の広域化・激甚化を踏まえ、首都圏の防災拠点、復旧・復興拠点としての広域防災体制整備にどう取り組むのか。

防災・危機管理部長 本県の広域交通ネットワークなどを生かすとともに、都内市区町村との災害時応援協定などに基づき広域支援ができると考える。

また、被災地災害対応に貢献できるように、今年設立した「いばらき災害対応支援チーム」の能力向上も図っていく。

(ほかに、県北芸術祭の在り方、市町村立学校へのエアコン設置なども質問)

江田隆記委員(自民) さまざまな面でプラスの影響が期待できる圏央道の四車線化について、一刻も早い実現を強く要望するが、今後の取り組みは。

土木部長 県としては引き続き、国や東日本高速道路株式会社へ強く働き掛けを行っていく。加えて、沿線の市町村と密接に連携しながら、圏央道の四車線化を一日でも早めるという強い決意を持って、用地買収や工事に全面的に協力し、しっかりと取り組んでいく。

(ほかに、がん対策、県立高校などにおける医学コースの設置なども質問)

萩原勇委員(自民) 儲かる農業を実現する上で、百畝規模の水稲メガファームの育成を推進する意義とは。

知事 知事就任後、農地中間管理機構の体制を強化し、農地の集約化に全力で取り組むこととしたほか、三年間でモデル的に大規模稲作経営体を育成する、水稲メガファーム育成事業を創設した。二名の事業者を選定し、さらに最大三名を追加するなど、低コストで生産性の高い水田農業を確立していく。

(ほかに、経営感覚を養う教育、県立高校へのエアコン設置なども質問)

常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

農業関係高校におけるGAPの教育をどのように進めるのか 教員の育成や県の確認制度の活用を推進する

問 農業関係高校においてもGAP※を推進すべきだが、どのように進めるのか。

答 農林水産部と教育庁が協力し、GAPに関する説明会や現場指導を行うほか、教員のGAP指導員の資格取得も進めている。引き続き、県GAP第三者確認制度※の承認などを目標に、生徒が達成感を得られるよう支援していく。

問 県アンテナショップのリニューアルオープンに際し、どう印象付けを行うのか。

答 新名称「イバラキセンス」として十月二十五日に新装開店するが、県の絶景映像を流すなど目を引くようなPRを



「イバラキセンス」内観イメージ

行うほか、県オリジナル品種を使ったスイーツや常陸牛・海産物などをストーリー性も加えて提供していきたい。(ほかに、アメリカカの常陸牛輸出促進、ゴルフツーリズムを活用したインバウンド対策なども質問)

総務企画委員会

県の障害者雇用推進に向けた今後の対応は 障害者の目線に立って雇用を拡大していく

問 今般、県の障害者雇用をめぐり、「水増し」ともとられる状況が明らかになった。障害者も県の戦力として、積極的に雇用を推進すべきと考えるが、今後の対応は。

答 障害者の目線に立った、あるいは能力に合わせた形で、職場や仕事を積極的に見つけていく。また、障害者が働きやすい環境づくりにも取り組み、雇用を拡大していきたい。

問 新しい県総合計画において、十一のゾーンを新たな地域区分として設けた考え方は。

答 これまでは五つの地域区分で均衡ある県土発展を掲げた時期もあったが、それぞれ



※黄色い線で囲まれた十一のゾーン
県総合計画に新設された地域区分

が個性ある発展を目指すため十一ゾーンを提案した。今後ゾーンごとに市町村との意見交換を行い、将来の発展の姿を共有していきたい。(ほかに、県職員の働き方改革、フリーWi-Fiの整備推進なども質問)

土木企業委員会

建設業の育成に向けた県の対応状況は 業界との意見交換を実施している

問 建設業界の育成のため、今後さらに行政の積極的なアドバイスも必要であると考えますが、県としての対応は。

答 県としても、地元建設業界の育成は重要と考えており、現在、県全域あるいは地域ごとに、業界との意見交換を実施している。今後さらに、頻度を上げて実施するなど、より積極的に取り組んでいるところである。

問 霞ヶ浦浄水場に導入される新しい高度浄水処理技術について、今後、他の浄水場へ導入する計画はあるのか。

答 処理水量が少ないとコストの低減効果が低く、費用対



県と建設業界との意見交換

効果の面で新技術の導入は難しい。他の浄水場への導入については、霞ヶ浦浄水場での実用化後の効果などを検証し、慎重に研究していく。(ほかに、新東町体育館付近の沢渡川緑地の活用、土砂災害への対応なども質問)

防災環境産業委員会

量子科学による革新的産業創生・専門人材育成事業の狙いは 大学改革と地域産業創生を図る

問 本定例会に補正予算の議案が提出された「量子科学による革新的産業創生・専門人材育成事業」の狙いは。

答 本県の若者の八割が県外の大学に進学し、四年制大学生の六割が県外に就職している。若者に地元産業に就職してもらおうとともに、地域産業の活力を高めるため、十年先を見据え、大学改革と地域産業創生に一体的に取り組む。

問 マイ・タイムライン※の今後の取り組みは。

答 マイ・タイムラインを作成する取り組みは、昨年の九月頃から開始し、約四千人に広がっている。今年度は、こ



専門人材育成のイメージ
(茨城大学大学院理工学研究科の実習風景)

の取り組みを「マイ・マップ作成事業」に取り入れ、当初の計画を前倒しして、少なくとも二十市町村以上で実施していきたい。(ほかに、就職支援奨学金助成制度の取り組み、災害廃棄物への対応強化なども質問)

文教警察委員会

県立高校へのエアコン設置方針は 県費による全ての普通教室への設置を進める

問 県立高校へのエアコン設置は、PTAによるリース設置から、県費による設置に方針転換された。今後、どのように整備を進めていくのか。

答 これまで、校舎の耐震化などを優先してきたが、厳しい夏の暑さや国の基準見直しもあり、県費で整備を図ることとした。リース部分は順次引き継ぐなどし、全ての普通教室への設置を進めていく。

問 駐在所は、住民にとって安全安心のよりどころである。駐在所を維持し、若い警察官の勤務経験を増やすなど充実を図るべきだが、所見は。

答 夜間や初動体制の強化の



エアコン設置を進め教育環境の充実を

ため、交番新設、駐在所の大型化など再編を進めてきた。一人で地域の治安を担う駐在所員には若い優秀な警察官を配置するなど、今後も地域住民の安全安心を守っていく。(ほかに、障害者の雇用、災害時の警察対応なども質問)

保健福祉医療委員会

医師確保に係る東京医科大茨城医療センターとの連携は さらなる連携強化により、県内の医師確保につなげたい

問 医師不足対策として筑波大学との連携だけでなく、阿見町の東京医科大茨城医療センターとも連携すべきでは。

答 東京医科大とは深いつながりがあり地域枠定員を八人設置している。現在、修学生四十一人、卒業した県内勤務医が十五人いる。今後も茨城医療センターを含めた連携を強化し、これらの医師の活躍による医師不足地域などでの医師確保につなげていきたい。

問 県立中央病院では、県内で活躍する医師を育成するためにどのような取り組みをしているのか。また、課題は。

答 地域医療を理解し現場対



県立中央病院で研修する若手医師

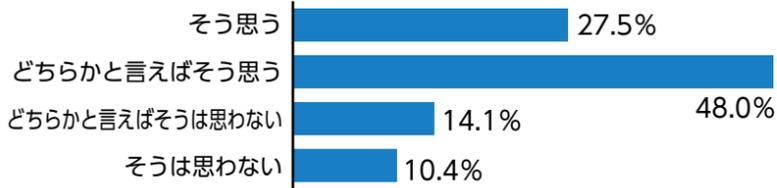
応能力に優れた医師の養成を目指し、幅広い診療科や地域の医療機関での研修を行っている。さらに研修医を確保するため、研修内容や施設などの充実を図る必要がある。(ほかに、ネット依存対策、児童虐待防止対策なども質問)

※【マイ・タイムライン】…風水害のときに、個人が避難するために取るべき行動を時系列にまとめたもの。
 ※【GAP】…Good Agricultural Practice。農業において、食品安全、環境保全などを確保するための生産工程管理の取り組み。
 ※【県GAP第三者確認制度】…東京オリンピック・パラリンピックへの食材提供のため、県が生産者のGAPの取り組み内容を確認し、承認する制度。

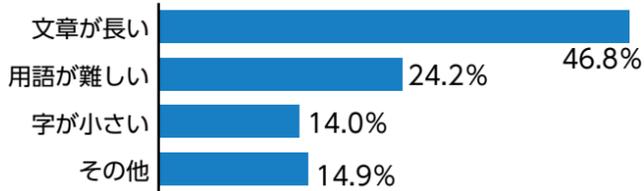
議会広報に関するアンケートの集計結果(概要)について

県議会では、議会広報などのさらなる充実を図るため、いばらき県議会だよりNo.203の紙面を利用してアンケートを実施しました。多くの皆様からのご回答ありがとうございました。皆様からいただいたご意見を参考に、今後の議会広報や議会活動に生かしてまいります。集計結果の概要については、以下のとおりです。

問1 「いばらき県議会だより」は分かりやすい内容でしたか。あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください。

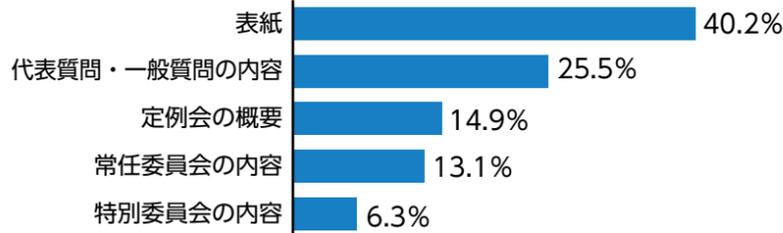


問2 問1で「どちらかと言えばそうは思わない」「そうは思わない」と答えた方は、分かりにくいと感じた理由をお聞かせください。あてはまるものを1つ選択してください。



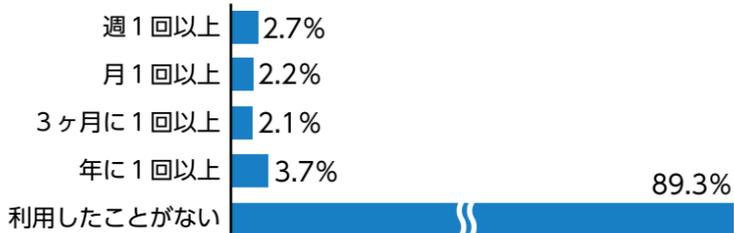
「その他」の主な意見
・内容が堅苦しい ・面白みに欠ける ・文字が多い ・内容が難しい ・文章が抽象的
・構成に工夫が感じられない ・図やイラストが少ない ・メリハリがない など

問3 紙面の中で特に関心の持てた項目は何ですか。あてはまるものを2つ選択してください。また、新たに掲載してほしい内容があれば、ご記入ください。

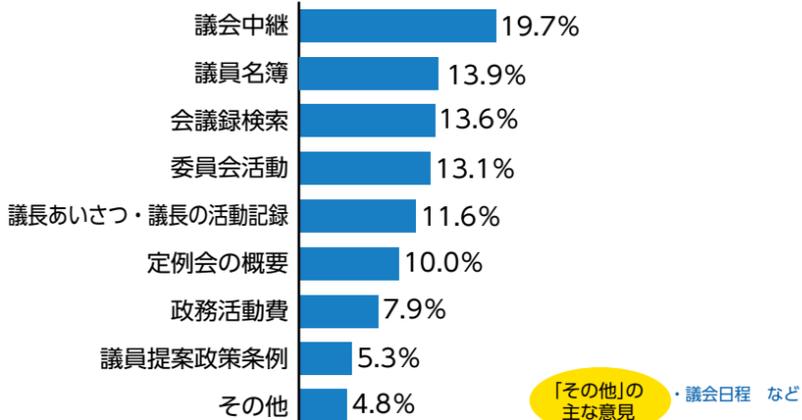


「新たに掲載してほしい内容」の主な意見
・イベントや観光の情報 ・政務活動費の内容 ・犬猫殺処分の問題
・議員の人物が分かるようなコラムや自己紹介 ・各会派や議員の活動状況 など

問4 茨城県議会のホームページを利用したことがありますか。あてはまるものを1つ選択してください。

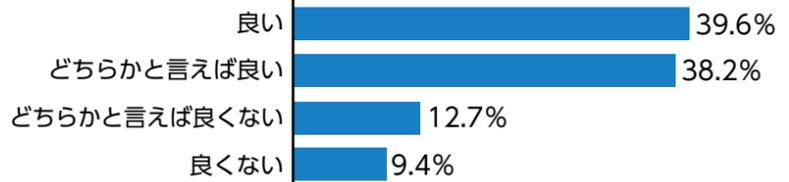


問5 茨城県議会のホームページでよく利用する項目(コンテンツ)は何ですか。あてはまるものを2つ選択してください。



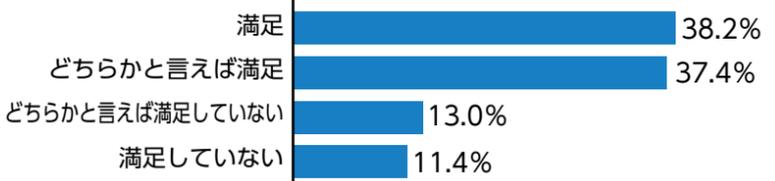
「その他」の主な意見
・議会日程 など

問6 茨城県議会ホームページのレイアウト(画面構成・見やすさ)はどうですか。あてはまるものを1つ選択してください。また、そう感じる理由があれば、ご記入ください。



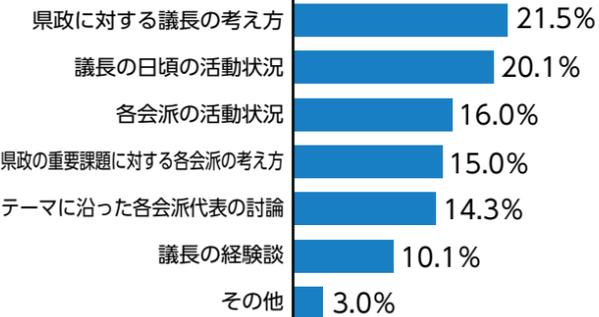
「そう感じる理由」の主な意見
(良い) ・カラフルで見やすい ・シンプルにまとまっている ・検索しやすい など
(良くない) ・知りたい情報が見つけにくい ・文字が小さい など

問7 茨城県議会ホームページの情報量(コンテンツの数)はどうですか。あてはまるものを1つ選択してください。また、そう感じる理由があれば、ご記入ください。



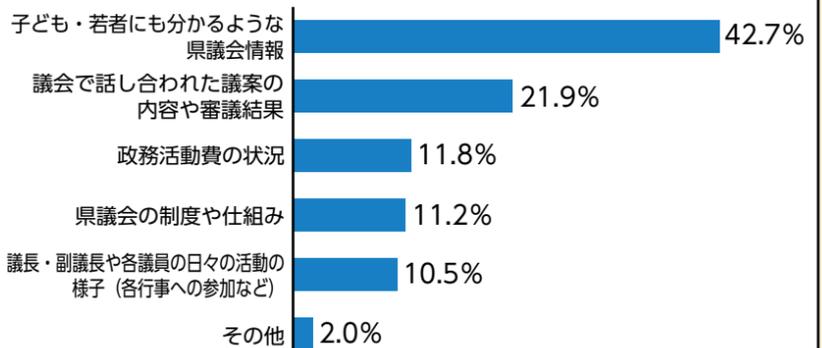
「そう感じる理由」の主な意見
(満足) ・分量が適切 ・必要な情報はほぼ充足している ・情報量が多い など
(満足していない) ・情報量が少ない ・知りたい情報が載っていない など

問8 茨城放送で県議会ラジオ広報(議長インタビュー(2月放送)、各会派代表座談会(3月放送))を行っています。どのような内容を聞いてみたいですか。あてはまるものを2つ選択してください。



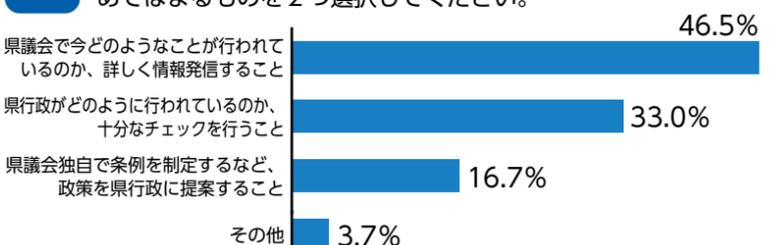
「その他」の主な意見
・議員個人の活動報告 ・政務活動費の使いみち ・各会派の主要な主張
・楽しい内容(イベントやスポーツ関連の情報など) ・テレビによる放送 など

問9 議会広報において、今後充実してほしいと思う情報はどれですか。あてはまるものを2つ選択してください。



「その他」の主な意見
・一般県民にも興味を持てる身近な内容 ・政務活動の報告 ・議員報酬に関する情報
・議員主体で制定した条例の効果 ・特に議論された内容 ・県民からの政策提案 など

問10 あなたが県議会に求めるものや期待することをお聞かせください。あてはまるものを2つ選択してください。



「その他」の主な意見
・本県の魅力度向上 ・無駄のない適正な税金の使い方 ・開かれた透明性のある議会
・議員定数や報酬の削減 ・不正や不祥事がないこと ・地元テレビ局の開設 など

【調査時期】平成30年4月29日～6月30日

【回収結果】6,023件(郵送・FAX 5,422件、インターネット601件)

* 端数処理の関係上、比率の合計が100%にならない場合があります。